

令和7年度 第1回敷島エリアパークミーティング開催報告

令和7年9月24日(水) 会場:県立敷島公園管理事務所

あなたならどうする?防災シナリオワークショップ

令和11年度には、群馬県において「湯けむり国スポ・全スポぐんま2029」が開催されます。県立敷島公園は、陸上競技および水泳競技の本会場として、正田醤油スタジアム群馬・補助競技場・水泳場が使用される予定であり、関係各所において準備が進められております。

大会の成功には、施設のハード面(バリアフリー化等)の充実と、ソフト面(開催期間中における防災体制の強化等)の整備が欠かせません。そこで、敷島エリアに関わるパークミーティング団員にとどまらず、自治体・地域団体・学生・ボランティア等幅広い分野の皆様アンケートにお答えいただいた他、仮想で災害を想定し、よりリアルな気付きを得る【防災シナリオワークショップ】を実施いたしました。

しきしま防災シナリオワーク

震度7の地震発生を想定!

参加者それぞれが、「施設利用者」「施設管理者」「近隣住民」「行政」の役柄になりきって参加します。

震度7の地震を想定して、各々の役柄になりきり、初動はどんな風に動くか、知りたい情報は?率直に感じることは?等を付箋に書きだして、自由に意見交換を行いました。

そういった中で、災害を身近な出来事としてとらえ、気付きを得る事、関係者同士の顔や声を知り、「顔見知りになる」ことが大きな目的です。



ワークショップで出た意見をご覧ください

QRコードを読み込むと
ワークショップで集まった意見を
ご覧いただけます



当日参加者の感想・ご意見

今回初めて新しい試み「しきしま防災シナリオワーク」と題して、敷島の各施設を利用する方々や近隣の自治会長さん、避難場所となっている学校の校長先生等、各分野の人たちの意見交換の場が設けられ、多様な考え方や前向きな発想の発言ができ有意義な時間となった。

テーマ選定として、「地震対応の強化」はとても良かったと思う。

ただ災害の想定が広範囲で、全体的に少しぼやっとした感じがしたので、もう少し絞り込んだ内容が良いように思う。

例えば、曜日・大会規模(全国、関東、県内)・使用施設・参加年齢層・来場者数・駐車場状況など多くの要素が入り混じっており、災害時の混乱が予想されるので、顔を合わせ、同じテーマで話し合いを行えたことは、防災体制強化における第一歩踏み出せたと感じる。正解はないかと思うが、今後も意見交換を重ねることで次のステップへ進むことができると思う。

次回の実施を希望します。

群馬県ソフトテニス連盟 副会長兼理事長 佐藤栄一様

多くの人がさまざまな目的で訪れる敷島公園。もし「いつもの公園」で災害が起きたら、私たちはどのように行動すべきでしょうか?

今回、競技団体やボランティア、地域の皆さんとともに、災害時の連携・協働について考えるワークショップが開催されました。管理事務所が中心となって防災ネットワークづくりに取り組むことは、いざという時に“つながる力”を高める大切なきっかけになると感じました。

前橋市社会福祉協議会地域福祉課課長 山口善子様

敷島公園にて初めての防災イベントを開催しました。

もし被災したらこんなことに困るだろう…、こうなったらどうしよう…等、漠然とした不安を持っていないが、なかなか普段からの備えが伴っていないのが今多くの人が抱えている現状かと思います。

防災について深く考える機会が無いので、今回敷島公園の関係者と一緒に学び体験していくことで、2029年に開催が決定している国スポ全スポに向けて、関係者とのつながりをより一層深めていけたらと思っています。

敷島パークマネジメントJV 吉野智美

2025年最終号となります。

一年間ご愛読いただき

誠にありがとうございました。

今後取り上げてほしいテーマ等がありましたら、公園管理事務所までご連絡ください。

皆様のお役に立てるニュースしきしまを目指して、来年も頑張ります。

ホームページが新しくなりました



公園ホームページ

SNSも発信中!



X(旧ツイッター)



Instagram